

激甚化・頻発化する水害に備え、身近な治水・防災で、未来の安心を育てる
「流域治水シンポジウムひろしま 2025」を開催します

日時:12月2日(火)14時10分～ 場所:広島 YMCA 国際文化センター

本県では、気候変動により激甚化・頻発化する水害に備え、あらゆる関係者が協力して流域の水害軽減に取り組むことを目指し“流域治水シンポジウムひろしま 2025”を開催します。

地球温暖化等により、降雨量は約 1.1 倍、洪水の発生回数は約 2 倍になると試算されています。実際の気象観測所データによると、広島県内でも時間雨量 50mm 超の大雨の回数は 30 年前と比較し約 2 倍になっており、水害の軽減に向けた「流域治水」の取組の重要性が高まっています。

このため、シンポジウムでは、流域治水の必要性や身近な流域治水や防災について専門家による基調講演とともに、継続的に防災教育に取り組まれている小学校の先生、地域の防災講座にボランティアで取り組んでいる学生防災士会の方や、流域治水に取り組む企業にもご登壇いただき、身近な流域治水と防災をテーマとしたパネルディスカッションも行います。



いざという時に備えて私たちにできることは、水害リスクを知り、逃げ遅れないために備え、地域で協力して、水害被害の軽減に取り組むことです。ぜひ、ご取材いただきますようお願いいたします。

- 1 日時：令和7年12月2日（火） 14時10分～17時00分（開場13時30分）
- 2 場所：広島YMCA国際文化センター（広島市中区八丁堀7-11）
本館地下1階 国際文化ホール
- 3 定員：200名（事前参加申込み順）
- 4 実施内容

①基調講演 テーマ「身近な治水・防災で 未来の安心を育てる」

関口 奈美 氏「激甚化する気象災害～正しく備える意識と知識～」

瀧 健太郎 氏「できることから始めよう 小さな流域治水・小さな自然再生」

②パネルディスカッション テーマ「身近な流域治水と防災」

登壇者

○ファシリテーター

・瀧 健太郎氏：滋賀県立大学 環境科学部 教授

○パネリスト

・関口 奈美 氏：気象予報士・防災士

・出尾 森梧 氏：海田町立海田南小学校 教諭

・小串 紘也 氏：広島工業大学 学生防災士会 代表

・澤田 大 氏：サントリープロダクツ株式会社 天然水奥大山ブナの森工場

取 材 申 込

「流域治水シンポジウムひろしま 2025」

日時：12月2日（火）14時10分～17時00分（開場13時30分）

場所：広島YMCA国際文化センター本館地下1階 国際文化ホール

取材を希望される方は令和7年11月28日（金）17時00分までに電子メールにより
事前登録をお願いいたします。

メールアドレス：dokasenk@pref.hiroshima.lg.jp

貴 社 名		
所属部署名		
ご担当者の氏名（ふりがな）		
ご同行者の氏名（ふりがな）		
ご連絡先	住 所	
	電話番号	
	メールアドレス	
カメラの有無		スチールカメラ 台 / ムービーカメラ 台

取材にあたってのお願い

以下の注意事項をご確認いただき、ご協力をお願いします。

- 報道関係者は、シンポジウムの円滑な進行にご協力くださいますようお願いいたします。
- 当日、記者及びカメラマンの方は、自社の腕章を着用いただきますようお願いいたします。
- 当日、受付にて必要事項を記入の後、担当者の指示により会場へ入場をお願いいたします。

〈問い合わせ先〉

広島県 土木建築局 河川課 河川企画グループ TEL：082-513-3929